

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院整形外科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

リバース型人工肩関節置換術後に生じる肩峰疲労骨折に関する疫学研究

2. 対象となる方

2015年1月～2024年1月に当院整形外科でリバース型人工肩関節置換術の治療を受けた患者さん

3. 研究目的

リバース型人工肩関節が行われた後で肩峰疲労骨折が生じることが時々あります。今回、その頻度を調査するとともに、生じることによる術後成績への影響を、術後同骨折が生じなかった群と統計的に比較することで調査することです。また、術前、術中、術後の各パラメーターを骨折が生じた群と生じなかった群で比較検討することで肩峰疲労骨折を生じる原因を明らかにすることを目的としています。

4. 研究期間

2025年（倫理審査委員会承認後）～2026年12月31日（予定）

5. 研究に用いる情報の種類

診療情報等：診断名、年齢、性別、手術側、手術日、身長、体重、副作用等の発生状況、レントゲンやCT、MRIなどの画像データ、術後外来で調査した身体所見 等

6. 実施方法

この研究に使用する情報を研究代表機関（またはデータセンターなど）に提供させていただきます。研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名やカルテ番号、住所などが特定できないようにしたうえで提供します。また、患者さんの氏名やカルテ番号を置き換えた番号との対応表も当院で保管し、当院以外へはできません。

【主な提供方法】DropBoxを用いたネットによる共有

7. 研究組織

広島市民病院 〈研究責任者 横矢晋〉

広島大学病院 〈研究責任者 原田洋平〉

市立三次中央病院 〈研究責任者 夏恒治〉

8. 研究代表者及び研究責任者

研究代表者：

広島市立広島市民病院整形外科 〈主任部長〉横矢 晋

当院の研究責任者：

広島市立広島市民病院整形外科 〈主任部長〉横矢 晋

9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院整形外科 横矢 晋